

教えて！おぐりん先生！

「投資のレシピ」 Vol.3



- 1 相場変動の大きな時は、投資額は小さくても大丈夫！
相場変動の小さな時は、投資額は大きくても安心！
- 2 人工知能（A I）と人間はどちらが投資上手か？
- 3 「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ような事になっていませんか？
- 4 投資しなければ損はしないと考えているかもしれませんが、目減りすることがありますよ！
- 5 思い込みは禁物！既成概念や常識にとらわれず柔軟な発想をしましょう！
- 6 「待つのも相場」

みなさん、こんにちは。株式会社和キャピタルの小栗です。
『マルチアセット・ストラテジーファンド（愛称：なごみの杜）』の月次レポートで連載したコラム「投資のレシピ」を集めたコラム集です。第3集の今回も、投資の心得を分かりやすく解説します！



愛称：おぐりん先生

※ 当資料の内容およびコメントは、各コラム作成時点の株式会社和キャピタルの見解を示したもので、当該見解は予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、マザーファンド（GNマルチアセット・ストラテジーマザーファンド）への投資を通じて、先進国株式、先進国の国債を中心にグローバルな分散投資を行います。マザーファンドの運用については、株式会社和キャピタルの投資助言を受けます。

当ファンドのお申込みにあたっては、必ず最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■ 設定・運用は



株式会社GCIアセット・マネジメント
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第436号
加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

■ 投資助言会社



株式会社和キャピタル
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2924号
金融商品仲介業者 関東財務局長（金仲）第847号
加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会

※ 最終ページの「当資料のお取扱いに関してご留意いただきたい事項」をご覧ください。

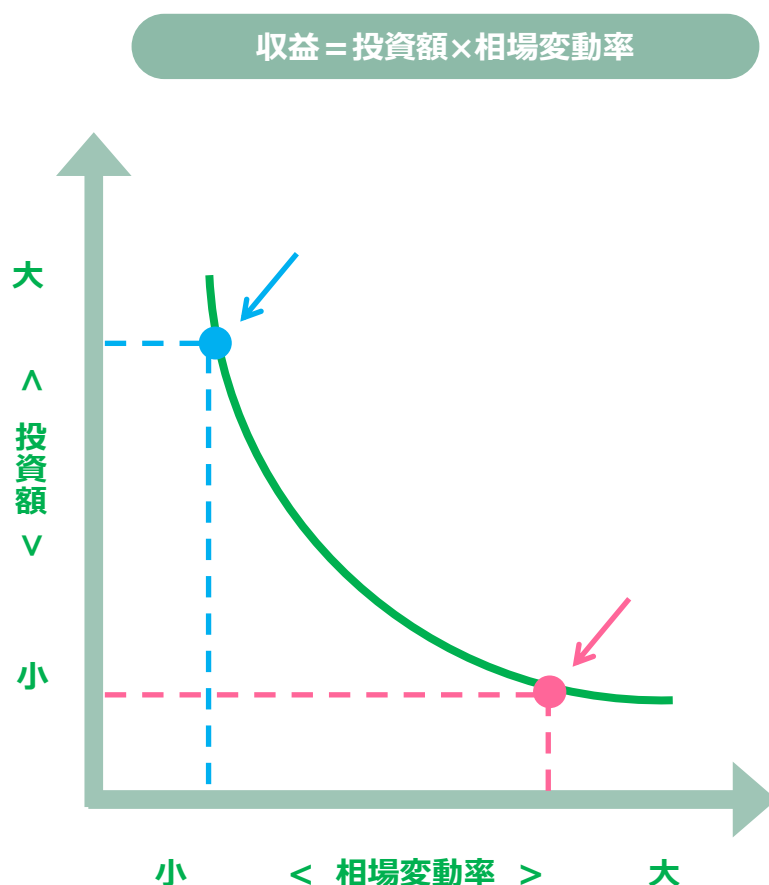
1

相場変動の大きな時は、投資額は小さくても大丈夫！ 相場変動の小さな時は、投資額は大きくても安心！

みなさんは、投資する時の金額はどうやって決めていますか？もちろん、投資の総額は、余裕資金の範囲内であればなりませんが、個々の投資額は、相場の状況によって変えていますか？意外と、いつも一定額を投資しているケースが多いのではないのでしょうか？これからは、このような公式を思い浮かべながら投資額を決めるのが良いと思います。

収益 = 投資額 × 相場変動率ですから、同額の収益を得ようとする場合は、投資額と相場変動率は反比例の関係になります。つまり、コロナショックのような大きな出来事で相場が大きく上下した場合は、小さな投資額でも期待した収益を得ることができると同時に、相場が大きく下落した時の損失も小さく抑えることができます。逆に、相場を大きく変動させるような出来事がない場合には、投資額を大きくしないと期待した収益を得ることができませんし、相場変動が小さいですから投資額が大きくても損失は抑えることができます。

投資は、相場変動をよく見ながら投資するタイミングを計るのが重要なのは言うまでもありませんが、相場変動の状況によって投資額を臨機応変に変えることによって、投資のタイミングの選択肢が増えることも忘れないください。



※ 上記はイメージ図であり、全てを説明するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※ 上記は、『マルチアセット・ストラテジーファンド（愛称：なごみの杜）』の月次レポート（2020年6月末基準）に掲載したコラムです。
 ※ 当資料の内容およびコメントは、各コラム作成時点の株式会社和キャピタルの見解を示したもので、当該見解は予告なく変更される場合があります。

2 人工知能（A I）と人間はどちらが投資上手か？

人工知能（AI）とは、人間の知的ふるまいの一部を人工的に再現したものです。コンピューターが経験から学び、新たな事象に順応することで、人間が行うように柔軟に仕事を行うことができるようになります。さらに、これらのテクノロジーを応用し、大量のデータからパターンを認識させることにより、チェスで名人に勝ったり、自動車を自動で運転したりできるようになります。このように、ビジネスや生活における様々な難しい仕事をこなせるようにコンピューターをトレーニングすることができます。

では、人工知能（A I）に投資を全部任せれば勝てるのでしょうか？
必ずしもそうではありません。

最近では市場業務においても、人工知能（A I）を使った投資が注目されています。確かに、高速で大量の取引が可能となり短期的な売買には適しているかもしれませんが、守り育てる長期投資には不向きです。なぜかと言うと、人工知能（A I）は、大量に情報を収集し瞬時に判断しますが、その中には間違った情報も含まれます。その結果、目先の事象にとらわれ過ぎて、相場の大きな流れに対応できないからです。

ですから、守り育てる長期投資には、情報を的確に判断し間違った情報を排除できる人間の方が投資上手と言えます。



大量のデータ



※ 上記はイメージ図であり、全てを説明するものではありません。

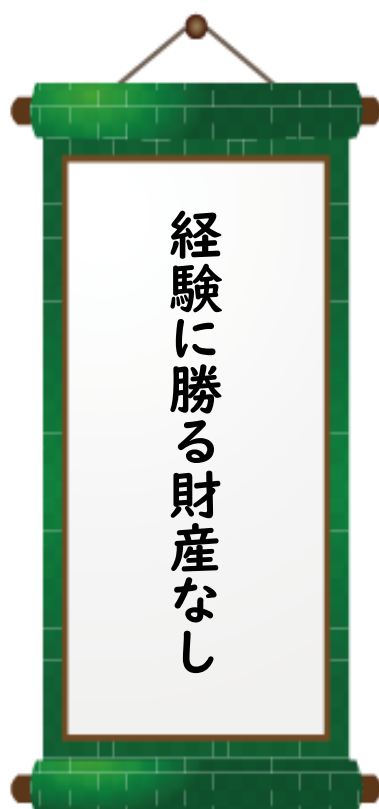
※ 上記は、『マルチアセット・ストラテジーファンド（愛称：なごみの杜）』の月次レポート（2020年7月末基準）に掲載したコラムです。
※ 当資料の内容およびコメントは、各コラム作成時点の株式会社和キャピタルの見解を示したもので、当該見解は予告なく変更される場合があります。

3 「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ような事になっていませんか？

コロナショックによる株価等の大暴落により、みなさんが保有している株式や投資信託なども大きく値下がりをし、ヒヤッとしたのではないのでしょうか？2008年に起きたリーマンショックの時よりも下落スピードが速く、何かしようにも何もできない状況だったと思います。その時、相場はいつ何時何が起こるかわからないものだから、投資をする際はより慎重に検討しなければいけないと感じたのではないのでしょうか？現在は、各国の政府や中央銀行がいろいろな財政金融政策を実行していることや、ワクチン等の開発によるコロナ終息後の経済回復の期待から、株価も下落前の水準近くまで戻りつつあります。

しかし、現在でもコロナウイルスの感染拡大は続いていて、とてもコロナ終息後の経済回復を見通せる状況ではないのに、株価が上昇しているからと言うだけで、何も考えずに買わないと儲け損なうと感じていませんか？このような行動は、同じ間違いを繰り返すことになります。

みなさんは、今回のコロナショックのような、100年に1度しかないような貴重な体験をしたのですから、それを無駄にせず今後の投資に活かすためにも、例えば、投資資産全体のバランスを見直したり、今回のような相場急落時にも安定的に運用していた投資信託を購入するなど投資の考え方を再検討してはいかがでしょうか？「経験に勝る財産なし」「行動に勝る経験なし」です。



※ 上記は、『マルチアセット・ストラテジーファンド（愛称：なごみの杜）』の月次レポート（2020年8月末基準）に掲載したコラムです。
※ 当資料の内容およびコメントは、各コラム作成時点の株式会社和キャピタルの見解を示したもので、当該見解は予告なく変更される場合があります。

4 投資しなければ損はしないと考えているかもしれませんが、目減りすることがありますよ！

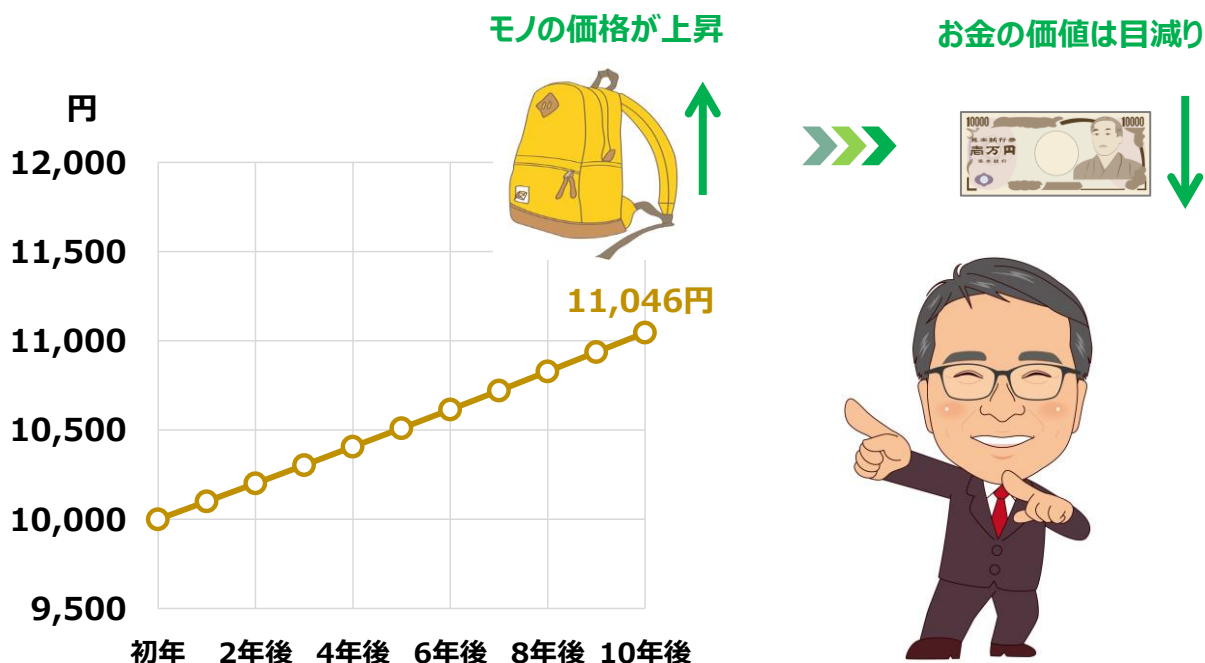
相場は様々な理由により上がったり下がったりします。最近で言えば、コロナショックによる株の暴落が記憶に新しいですね。そのような状況を目の当たりにすると、相場に怖いイメージを持ち、投資しなければ損もしないから止めておこうと思っている人が多いのではないのでしょうか。

果たして、本当に「投資しなければ損はしない」のでしょうか？しかし、常にそうとは言えません。例えば、今1万円で買えるものが、10年後も1万円で買えるでしょうか？もし仮に、物価が毎年1%上昇したとすると、10年後に同じものを買うには物価上昇分を加えて1万1千円必要になります。それは、手元にあるお金の価値が目減りして損をしたのと同じことになります。ですから、将来自分の手元にあるお金を目減りさせないような投資をすることが必要になります。

特に、老後資金などは長期に渡る投資で、将来の安定した生活のための大事なお金ですから、大きな損をして目減りさせる訳にはいきません。そこで投資する上で重要になるのが、長期的かつ安定的に収益を上げて、手元の資金を堅実に増やしてくれる運用商品を選定することです。ですから、リスクを抑えながら中長期的かつ安定的に収益を上げるバランス型の投資信託などが有効だと思います。何にも投資しなければ損もしないと考えている方は、お金を目減りさせないためにも少しずつ始めてはいかがでしょうか？

※ 上記文章において「物価が毎年1%上昇したとすると、10年後に同じものを買うには物価上昇分を加えて1万1千円必要になります。」と記載しておりますが、金額部分は千円未満を非表示としています。円単位まで示す場合、下記グラフの通り「11,046円」となります。

物価が毎年1%上昇した場合のシミュレーション



※ 上記はシミュレーションであり、将来の動向等を示唆・保証するものではありません。

※ 上記は、『マルチアセット・ストラテジーファンド（愛称：なごみの杜）』の月次レポート（2020年9月末基準）に掲載したコラムです。
 ※ 当資料の内容およびコメントは、各コラム作成時点の株式会社和キャピタルの見解を示したもので、当該見解は予告なく変更される場合があります。

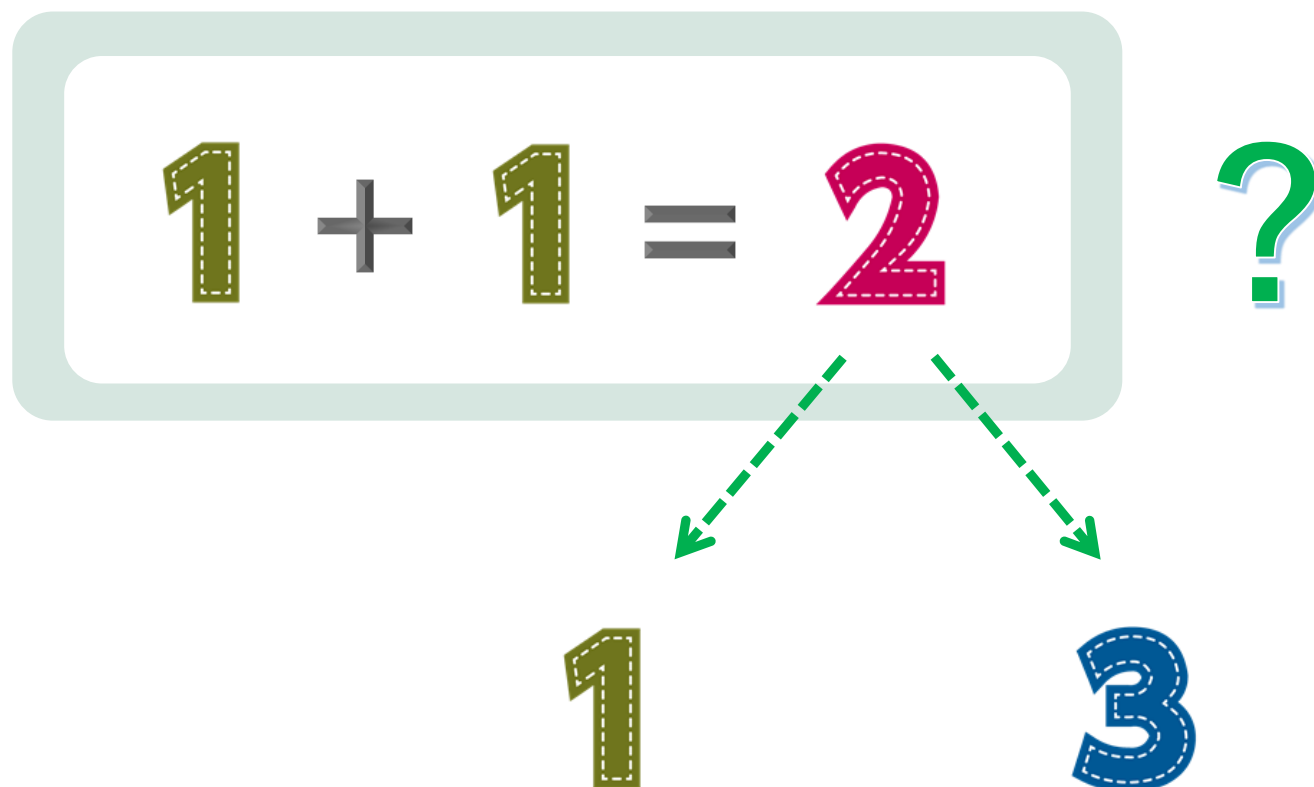
5

思い込みは禁物！

既成概念や常識にとらわれず柔軟な発想をしましょう！

みなさん、 $1 + 1$ の答えがわかりますか？ほとんどの人が躊躇なく2に決まっていると答えると思います。果たして正解でしょうか？数学的には、 $1 + 1 = 2$ が正しいとされています。しかし、すべてがそうとは限りません。たとえば、1人 + 1人は2人ですが、ひとつの作業を2人でやったらいつも2倍の早さで出来るでしょうか？2人の能力がうまくかみ合えば3倍の早さになることもあります。かみ合わない場合は2人で作業しても同じ時間がかかったりします。すなわち、 $1 + 1 = 3$ だったり、 $1 + 1 = 1$ ということがあり得るということです。この違いは、 $1 + 1$ を計算問題と「思い込み」2という答えを出したことによるものです。

大人になると、たくさんの知識を習得し、いろいろな経験を積みます。それは、生活をしていく上で重要なことではありますが、それらのことが既成概念や常識となり大きなミスの原因になることがあります。相場においても、相場の知識や経験による「思い込み」により大きな判断ミスにつながるケースがあるので、既成概念や常識にとらわれず、常に現状を理解し柔軟な発想をして投資しましょう。



※ 上記はイメージ図であり、全てを説明するものではありません。

※ 上記は、『マルチアセット・ストラテジーファンド（愛称：なごみの杜）』の月次レポート（2020年10月末基準）に掲載したコラムです。
※ 当資料の内容およびコメントは、各コラム作成時点の株式会社和キャピタルの見解を示したもので、当該見解は予告なく変更される場合があります。

6 「待つのも相場」

みなさんが投資を考えたとき、たった三つのことしかできないことを知っていますか？それは、「買う」「売る」そして「待つ」ことです。では、この中で、一番大事なことは何だと思いますか？ほとんどの方々は、もちろん「買い」だと考えてはいませんか？確かに、投資は「買い」から始まりますから、少しでも安く買うことが大事なことは当然です。しかし、「投資のプロ」は、「待つ」ことを一番大事にします。それは何故かと言いますと、「待つ」という判断ができる 때가、一番中立的に相場の動きが見えている状態だからです。買いたいと考えた瞬間に、あなたは買うタイミングばかり考えていませんか？それでは、あせって買ったり、買い遅れたりしてしまいます。投資をする時は、常に「待つ」という感覚を大事にしながら売買のタイミングを計り、ここだと思ったら思い切って売買しましょう。



- ※ 上記は、『マルチアセット・ストラテジーファンド（愛称：なごみの杜）』の月次レポート（2020年11月末基準）に掲載したコラムです。
- ※ 当資料の内容およびコメントは、各コラム作成時点の株式会社和キャピタルの見解を示したもので、当該見解は予告なく変更される場合があります。

ご挨拶

おぐりん先生の「投資のレシピ」をご愛読いただきありがとうございます。
ございます。

2020年は、コロナショックにより春先に株価が暴落したり、自粛生活を強いられたりと忍耐の1年でした。2021年は、コロナが終息し安心して新しい日常生活が送れることを期待しています。

引き続き、分かりやすく、投資の心得が自然と身につく、少しでも皆様の投資のご参考になるようなレシピを掲載してまいります。よろしくお願いいたします。

おぐりん先生



「なごみの杜」は、和キャピタルの助言を受けて運用する
「初めての公募投資信託」です。

当ファンドは、**基準価額の変動リスク（*1）を年率2%程度に抑えながら、
年率1.2%程度（*2）の安定的な投資収益の確保を目指した運用を行います。**

*1：価格の値動きの大きさを表します。この値が小さいほど、価格変動リスクが小さく低リスクを意味します。

*2：信託報酬控除後のものです。なお投資収益は、中長期的に目指す目標であって、その達成を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの特色

1. マザーファンド※への投資を通じて、先進国株式、先進国の国債を中心にグローバルな分散投資を行います。

※ GNマルチアセット・ストラテジーマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）

2. マザーファンドの運用については、株式会社和キャピタルの投資助言を受けます。

投資助言会社：株式会社和キャピタル

和キャピタルは地域金融機関を初めとする機関投資家（特定投資家）に対して、流動性を確保しながら機動的運用を行うことで、安定的かつ持続的な収益を確保することを目指す投資助言サービスを提供しています。

3. 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

4. 原則、毎年2月および8月の各10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき、分配を行います。

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。**

当ファンドが有する主なリスク要因は以下の通りです。

株価変動リスク	株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢などにより変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
金利変動リスク	債券などの価格は、一般的に金利低下（上昇）した場合は値上がり（値下がり）します。なお、債券などが変動金利である場合、こうした金利変動による価格の変動は固定金利の場合と比べて小さくなる傾向があります。また、発行者・債務者などの財務状況の変化などおよびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢などにより変動します。債券などの価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、政治情勢などの様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。なお、当ファンドおよび投資信託証券において、外貨建資産について、為替予約を活用し、為替変動リスクの低減を図りますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジを行う通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分等のコストがかかることにご留意ください。
信用リスク	投資対象となる債券等の発行体において、万一、元利金の債務不履行や支払い遅延（デフォルト）が起きると、債券価格は大幅に下落します。この場合、当ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。また、格付機関により格下げされた場合は、債券価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
デリバティブ取引のリスク	当ファンドは有価証券および金利関連のデリバティブ（先物取引の金融派生商品）に投資することがあります。デリバティブの運用には、ヘッジする商品とヘッジされるべき資産との間の相関性や流動性を欠く可能性、証拠金を積むことによるリスク等様々なリスクが伴います。実際の価格変動が見通しと異なった場合に、当ファンドが損失を被るリスクを伴います。
流動性リスク	時価総額が小さい、取引量が少ないなど流動性が低い市場、あるいは取引規制などの理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用			
投資者が直接的に負担する費用			
購 入 時 手 数 料	購入価額に <u>1.1%（税抜1.0%）</u> の率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。		
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <u>0.05%</u> の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
運用管理費用 （信託報酬）	純資産総額に対し <u>年率0.88%（税抜 年率0.80%）以内</u> 信託報酬率は、ファンドの純資産総額の残高に応じて変更します。		
	純資産総額	100億円以下部分	100億円超部分
	信託報酬率	年率 0.88% （税抜 年率 0.80%）	年率 0.825% （税抜 年率 0.75%）
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料がファンドから支払われます。 ● 監査法人に支払われるファンドの監査費用 ● 有価証券等の売買時に発生する売買委託手数料 ● 外貨建資産の保管等に要する費用 ● ファンドに関する租税 ● その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※ 上記の費用・手数料は、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。		

※ 投資者の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ	
購入・換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。（ファンドの基準価額は1万口あたりで表示しています。）
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた分を当日のお申込み分とします。
購入・換金の 申込受付不可日	ニューヨークの銀行休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日およびロンドンの銀行休業日 ※ 詳しい申込受付不可日については、販売会社または委託会社にお問い合わせください。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みを取り消すことがあります。
信託期間	2018年6月20日（設定日）から2023年2月27日まで ※ 受益者に有利であると認めたときは、受託会社と協議のうえ、信託期間を延長することができます。
決算日	原則、毎年2月および8月の各10日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。収益分配金の受取方法により、「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度（NISA）および未成年者少額投資非課税制度（ジュニア NISA）の適用対象です。配当控除・益金不算入制度の適用はありません。

※ その他の項目につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

販売会社

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第30号	○			
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第60号	○			
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第2号	○		○	

※ お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、販売会社へお申し出ください。

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は、前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

当資料のお取扱いに関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、株式会社GCIアセット・マネジメント（以下「当社」といいます）が、当ファンドの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は、作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。
- 投資信託は預金保険制度の対象ではありません。また、銀行が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。



『なごみの杜』特設サイトのご案内



マルチアセット・ストラテジーファンド（愛称：なごみの杜）の特設サイトでは、ファンドの特色や運用状況、分配実績のほか、月次レポートや臨時レポートを掲載しております。

URL

<https://nagominomori.info/>

QRコード



※ パソコン・スマートフォン共通